

午後1時30分。XYZ航空000便が着陸に失敗し炎上。乗員・乗客は速やかに脱出を開始しているが、機内には多数の負傷者が残されている模様…。

11月11日(木)、航空機事故の発生を想定した「航空機事故消火救難総合訓練」が成田空港で実施されました。訓練には市内外の消防や警察、医療機関、空港周辺自治体などの61機関・約700人が参加。事故発生のアナウンスが流れると、関係機関が垣根を越えて連携し、消火活動から負傷者の救出、負傷の度合いで救助の優先順位を決めるトリアージ、病院への搬送までの一連の流れが迅速に行われました。参加者は緊迫した状況の中、本番さながらの真剣な表情で訓練に臨んでいました。



負傷者を待ち構える担架班



負傷者から症状を聞き取る

**13:32** 消防隊に消火・救助を指示 **13:36** 軽傷者を避難場所へ誘導 **13:48** 重傷者を救護所へ運ぶ **13:56** 他自治体の救急救命士が協力 **14:01** 優先度の高い負傷者を速やかに搬送 **14:12** 現場調整所で各機関が現状報告





航空機事故消火救難総合訓練

# 空旅の安全を守る 勇士たち

